

1

訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

現状と課題

①観光客数の動向

- ・地域連携による周遊観光ルートの整備や「うだ・アニマルパーク」の誘客イベントなどにより、一部の観光スポットでは観光客数の増加が見られます。
しかし、東部地域の観光客数は横ばいで推移しており、一層の交流促進策が必要です。

②観光客数の季節的偏り

- ・東部地域は、春の桜や花しょうぶの時期と秋の紅葉やスキの時期には、たくさんの観光客が訪れます。一方で、それ以外の季節には、観光客が少ない閑散期となっており、一年を通じて観光客に訪れてもらうための対策が必要です。

③宿泊客の発地状況

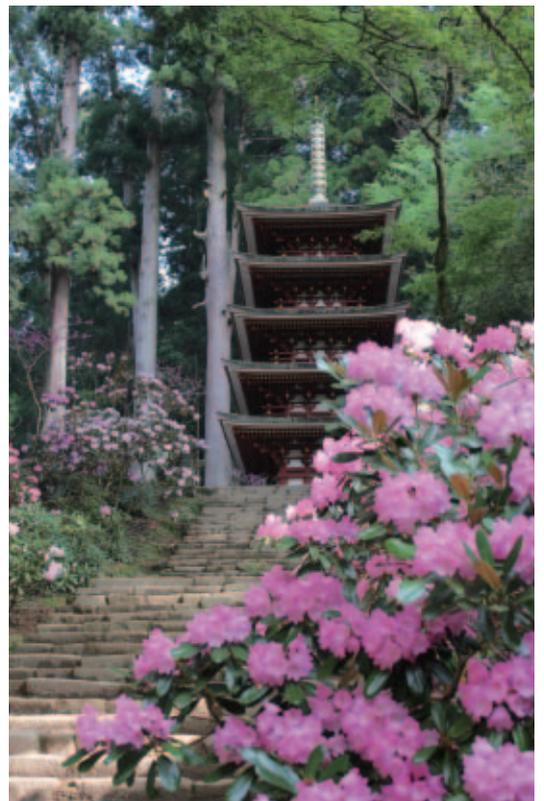
- ・東部地域の宿泊客は、約8割が近畿府県からで、県内からの宿泊客数は少ない状況です。
まずは、県内でのプロモーション、さらには長期滞在も見込める中部圏、首都圏等へのプロモーションが必要です。

④観光資源

- ・東部地域には、曾爾高原のスキ、「女人高野」室生寺など認知度の高い観光資源があります。
- ・一方、認知度は低いものの、祭りや伝統芸能、郷土料理など、観光資源となりうる魅力的な資源がたくさん存在しており、その活用が求められています。
- ・さらに、新たな観光客層を開拓するため、観光資源の創出が求められています。

⑤交通アクセス

- ・東部地域には近鉄大阪線や名阪国道が通っていますが、鉄道駅やインターチェンジからかなり離れた観光地も多く、訪れてもらいやすい地域にするため、交通手段を確保していく必要があります。



室生寺(宇陀市)

取組の方向性

上記の現状と課題に対応するため、訪れてみたいくなる地域づくりでは、次の3つの取組を行います。

(1) 魅力を発見する、創る

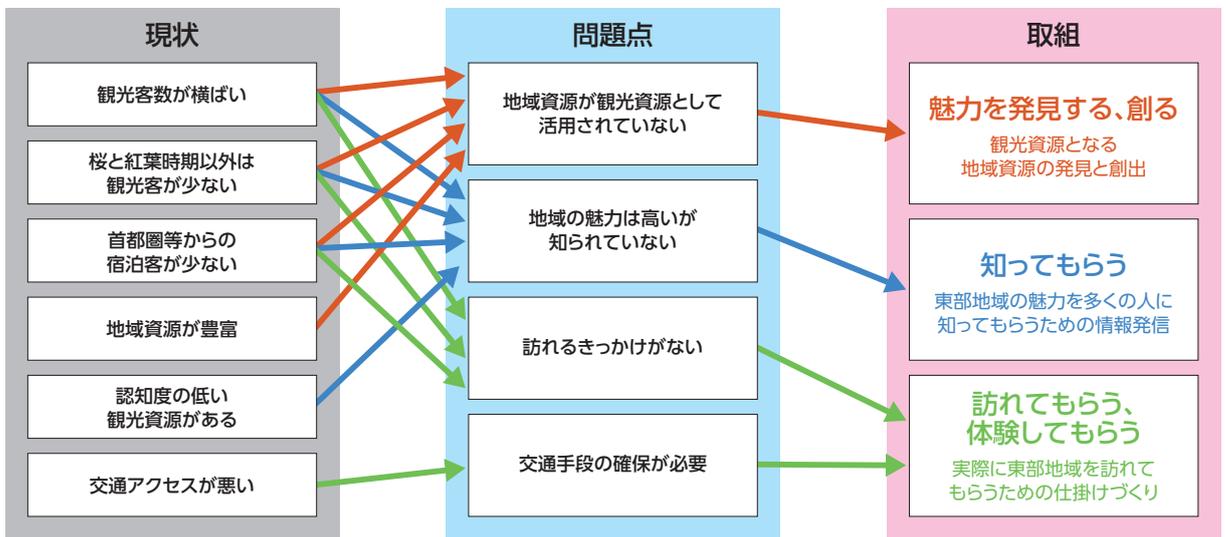
(観光資源となる地域資源の発見と創出)

(2) 知ってもらう

(東部地域の魅力を多くの人に知ってもらうための情報発信)

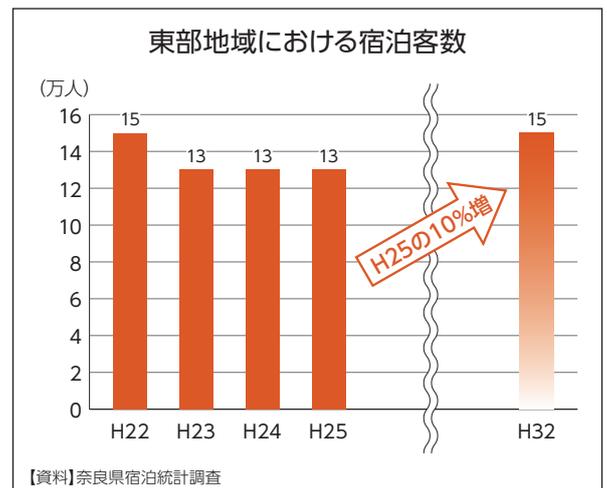
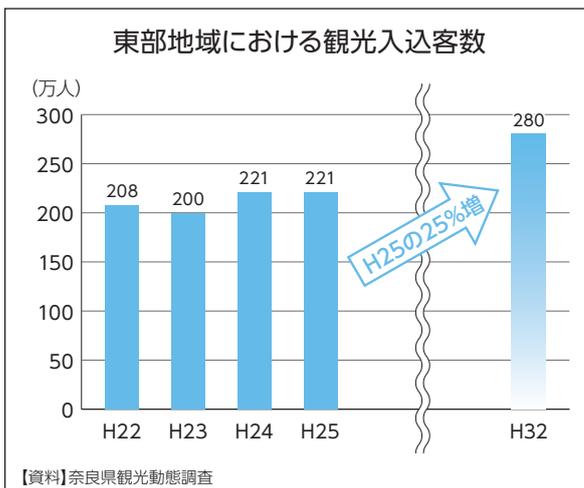
(3) 訪れてもらう、体験してもらう

(実際に東部地域を訪れてもらうための仕掛けづくり)



目 標

- ・平成32年の観光入込客数を280万人にすることを目標とします。
- ・平成32年の宿泊客数を15万人にすることを目標とします。



具体的な取組

(1) 魅力を発見する、創る

地域の自然景観、歴史的文化遺産、そして郷土料理など、魅力的な観光資源となる地域資源を発見するとともに、それぞれの地域特性に合った新たな観光資源を創出するため、以下の取組を進めます。

① 特色ある食と宿泊施設等の整備推進

- ・「なら食と農の魅力創造国際大学校(NAFIC)」との連携のもと、すばらしい眺望の場所に地元食材を活かして「食」と「泊」を売り出すオーベルジュ[※]等の整備を促進するとともに、それらのネットワーク化を推進します。

[※]オーベルジュ:フランスが発祥の郊外や地方にある宿泊設備を備えたレストラン

- ・農林業を体験できる農家民宿をはじめ、美味しい郷土料理など地域の魅力を楽しめる特色のある宿泊施設の整備を支援します。

② 美しい景観づくり

- ・植栽を通じて魅力ある庭づくり、さらには美しい景観づくりを行うことを目指して策定した『奈良県植栽計画』(「なら四季彩の庭」づくり)に基づき、東部地域の自然環境や森林資源を生かし、見るだけでなく、いろいろな楽しみ方や活動ができる「庭」を整備します。
- ・美しい景観を保全し、創造するため、道路沿いの緑化活動など県民との協働による取組を促進します。

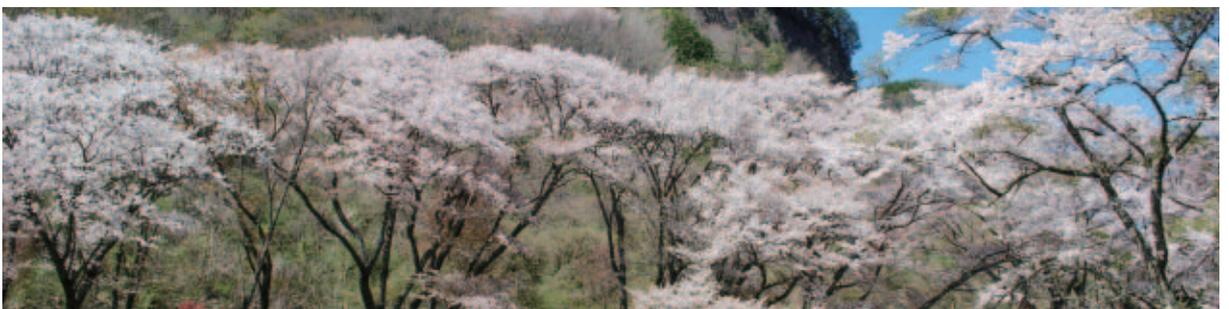
③ 地域資源を活用した魅力づくり

- ・優れた自然景観、祭りや伝統芸能、郷土料理など、地域資源の魅力を再発見し、これらを有効活用した取組を進めます。
- ・動物とのふれあい体験など「うだ・アニマルパーク」の魅力を強化します。
- ・伊勢街道の案内サイン整備など魅力の向上や地域の伝統芸能、郷土料理を体験できる旅行商品を開発します。

④ 多様なスポーツ施設の整備

- ・東部地域の地形や地域ならではの自然資源・自然環境を活かしたロードレースやサイクリングなどアウトドアスポーツで地域との交流を図ることにより魅力に親しみ楽しむことができる施設の整備を促進します。

屏風岩公苑(曾爾村)

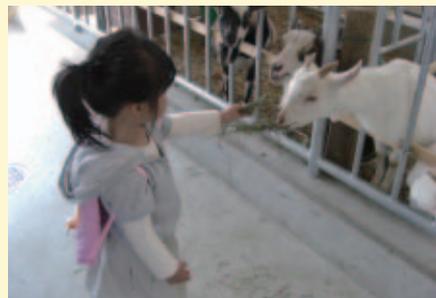


取り組んでいます



うだ・アニマルパーク

- 動物とふれあう「パークエリア」と、犬・猫の保護や引取などの「動物愛護センター」の機能を有します。
- パークエリアでは、「いのちの教育」をはじめ、乗馬体験、子牛のミルクやり体験、羊の毛刈り体験などの体験イベントを充実させるとともに、軽食施設や大型遊具などの整備を進め、その結果、年間来園者は開園当時(平成20年度)の約7万人から、平成25年度は約18万人と大幅に増加しています。



えさやり体験



うだ・アニマルパーク(宇陀市)